

# 和泉そぞろ

Izumisozoro

## ⑬ 光明石（照田光田伝説） **ゴール!**

藤原不比等が光明皇后を発見したさいに周りの田んぼと一緒に光輝いた石という伝承があります。グレーチングの下に安置されています。

## ⑫ 安養寺観音の由来碑

かつて松室村には休所山安養寺がありました。宝亀2年(771)、行基の高弟・法海上人の開基で、ご本尊の千手観音は横尾山施福寺の千手観音と同木同作といわれています。天明(1781～1789)頃は八石四斗の寺領を有しましたが、いつしか廃れ、ご本尊だけが森光寺に伝わっています。

## ⑪ 瑠璃山 森光寺（施音寺跡）

真言宗寺院です。元は万町にありましたが明治40年(1907)に移転したといわれています。当地には、かつて施音寺という三林・春日神社の神宮寺がありました(明治初期に廃寺)。中興の祖・乗泉坊永算(横田一族の出身)は宝永3年(1706)に大般若経(和泉市指定文化財)を修復し、それが森光寺に伝わっています。元は播磨国印達郷(現・姫路市)の北条天満宮に奉納されていた経本で、どういった経緯で伝来したのかはよくわかりません。

## ⑩ 室堂町（旧・室堂村）

和田浄水場から北西に向かうと室堂の集落です。池田谷(横尾川流域)の集落ですが、古代には池田首(景行天皇の後裔)一族が住み、池田寺(室堂町、池田下町界隈)もありました。中世には池田庄と呼ばれて藤原氏の荘園となり、三林に春日神社が勧請されます(藤原氏との関わりが不比等・光明皇后伝説と繋がる説があります)。18世紀から明治までは三林・春日神社の神官は室堂の横田一族が世襲しました。幕末は下総国葛飾郡(現・千葉県野田市)の関宿藩領で明治6年(1873)の室堂村は戸数75戸、人員343名(男178名、女164名、僧侶1名)と記録されています。

## ⑨ 和田浄水場

水源は光明池です。和泉市には水量の豊富な河川がないので、水道水は和田浄水場と父鬼浄水場の2か所で18%。足りない分は大阪広域水道企業団(72.7%)、泉北水道企業団(9.3%)から購入しています。和田浄水場は1日に10,000m<sup>3</sup>(25mプール40杯分)の水道水を作ることができます。

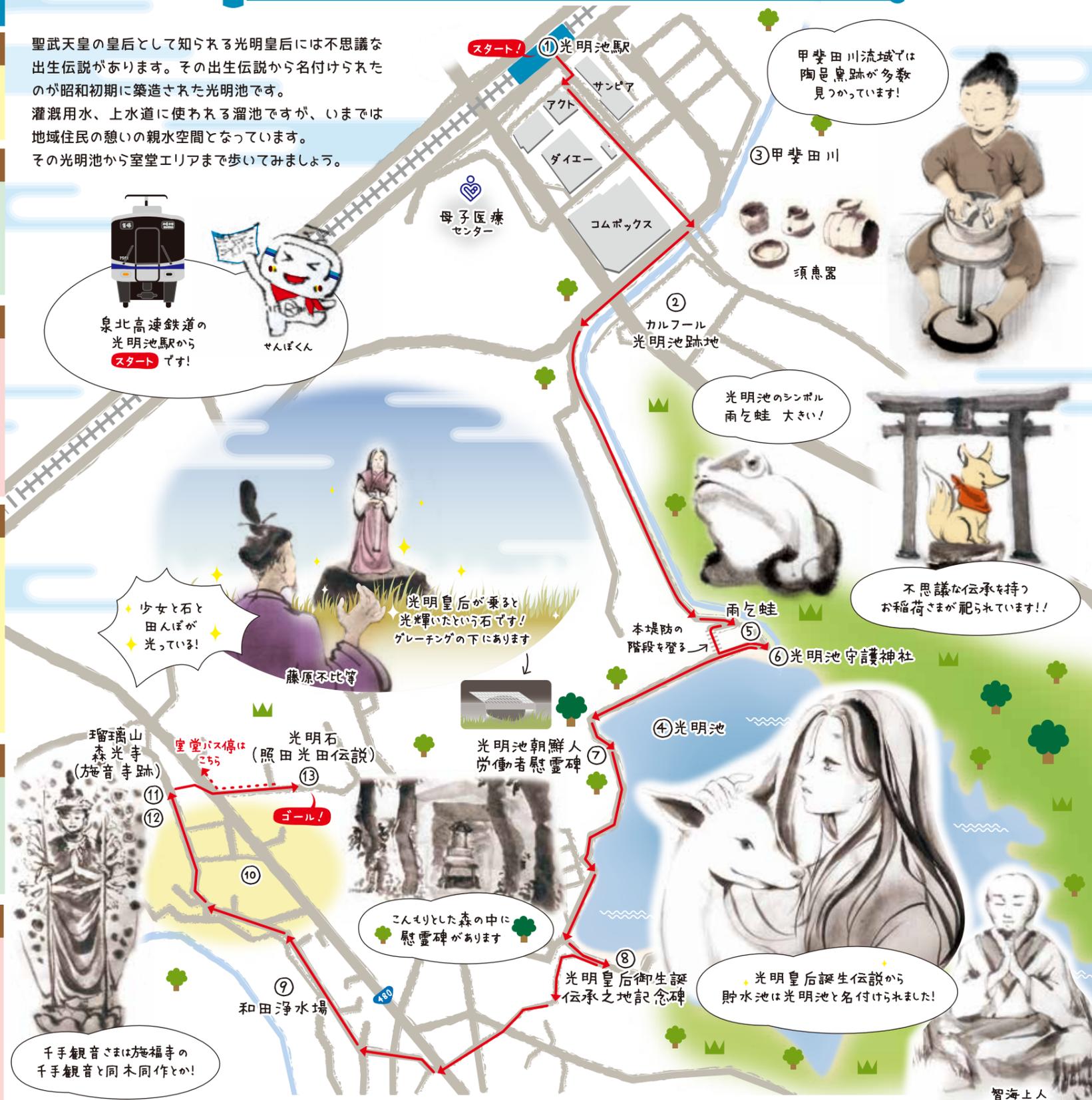
## ⑧ 光明皇后御生誕伝承之地記念碑

光明池は当地の光明皇后(701～760)生誕伝説から光明池と名付けられましたが、その伝説をモチーフにした記念碑です。横尾川・浄福寺裏手の岩窟で智海上人が修行をしていると、女鹿が来て上人が小用を足していた岩壁を舐めて懐妊し、女の子を産みました。数年後、藤原不比等が横尾寺参詣の帰途、室堂村を通ると、田植え作業中の少女が光り輝いていたので、光明子と名付けて養女とします。やがて聖武天皇の寵愛を受けて光明皇后となった...というのが伝説のあらましです。また少女の足は鹿の足の形をしていたので、それを隠すために履かせたのが足袋のはじまりといわれています。

まち歩きマップ「和泉そぞろ」は「いずみ市民大学」の「観光おもてなし学科」の資料として作成されました。掲載されている情報は令和4年(2022)2月現在のものです。和泉のまち歩きのさいにご利用してください。

## 光明皇后出生伝説の地！光明池周辺を探る

～甲斐田川から室堂を経て照田光田へ～



聖武天皇の皇后として知られる光明皇后には不思議な出生伝説があります。その出生伝説から名付けられたのが昭和初期に築造された光明池です。灌漑用水、上水道に使われる溜池ですが、いまでは地域住民の憩いの親水空間となっています。その光明池から室堂エリアまで歩いてみましょう。

泉北高速鉄道の光明池駅からスタートです！

少女と石と田んぼが光っている！

光明皇后が乗った光輝いたという石です！グレーチングの下にあります

光明池朝鮮人労働者慰霊碑

光明池

光明皇后御生誕伝承之地記念碑

光明皇后誕生伝説から貯水池は光明池と名付けられました！

光明池朝鮮人労働者慰霊碑

甲斐田川流域では陶器窯跡が多数見つかっています！

カルフル光明池跡地

光明池のシンボル雨乞蛙 大きい！

不思議な伝承を持つお稲荷さまが祀られています！

光明池

光明皇后御生誕伝承之地記念碑

光明池朝鮮人労働者慰霊碑

甲斐田川流域では陶器窯跡が多数見つかっています！

カルフル光明池跡地

光明池のシンボル雨乞蛙 大きい！

不思議な伝承を持つお稲荷さまが祀られています！

光明池

光明皇后御生誕伝承之地記念碑

光明皇后誕生伝説から貯水池は光明池と名付けられました！

光明池朝鮮人労働者慰霊碑

## ① 光明池駅 **スタート!**

昭和52年(1977)に泉北高速鉄道の駅として開業しました。駅は堺市南区新櫓尾台にあります。車庫は和泉市室堂町にあり、両市に跨る光明池にちなんで駅名が命名されました。駅前にはサンピア、アクト、ダイエー、コムボックスといった商業施設が並び、利便性が高いエリアです。

## ② カルフル光明池跡地

2001年、当地でフランス最大のスーパーマーケット・カルフルの関西地区第一号店がオープン。オートウォーク(階段ではないスロープ式エスカレーター。ショッピングカートのまま移動できる)、インラインスケートのスタッフなどが話題となりましたが、業績悪化でカルフルは日本から撤退。2005年にイオンに売却され、それも2014年に閉店し、現在はマンション(ウエリス光明池)となっています。

## ③ 甲斐田川

光明池から北流して、鴨谷を経て途中、暗渠となりますが和田川に合流。さらに北流して和田川は石津川と合流して大阪湾に流れ込みます。和泉丘陵・陶器窯跡群のあいだを流れていて、甲斐田川流域では5世紀と8世紀の窯跡が数多く発見されています。5世紀に甲斐田川流域に窯業が広がり、しかし過剰な森林伐採によって6世紀、7世紀は窯業が衰え、森林が回復し始めた8世紀から、また窯業が広がったのでは？と推測されています。また甲斐田川は光明池の水が溢れたり、堤防が決壊しないように常時、余剰な水を放流する「除川(よげがわ)」の役割も果たしています。

## ④ 光明池

昭和6年(1931)から建設が始まり、昭和11年(1936)に本堤防が完成。不要溜池の開田や導水路開発などは戦後の昭和23年(1948)にようやく完成しました。横尾川から導水され、満水時貯水量は約370万立方メートルで府下最大です。また満水面積は約36ヘクタールで府下では岸和田市・久米田池、大阪狭山市・狭山池に次ぐ3番目の広さを誇ります。最盛期の灌漑面積は約1700ヘクタールに及びましたが、減反政策などで現在は約300ヘクタールほどです。上水道の水源としても利用されています。戦争中には出征兵士の無事を祈って、残された家族が「行ってこい、帰ってこい」と2匹の鯉を願掛けしながら密かに池に放流したといわれています。

## ⑤ 雨乞蛙

光明池守護神社再建20周年記念として池を管理する光明池土地改良区が「水不足を克服しようと努力した先人の思いを忘れず、原点に戻る(蛙)」という思いを込めて平成15年(2003)に設置しました。

## ⑥ 光明池守護神社

昭和11年(1936)、光明池築造時に水分宮と白狐稲荷神社が建立されました。水分宮は水不足に悩まないように、白狐稲荷神社は工事中に突然、一人の朝鮮人労働者に狐が憑いて弁当箱を啜って四つ這いに走り回って、あらめことを口走るといって怪奇現象を起こして作業が中断したことがあり、それを鎮めるためだったといわれています。しかし月日が経つにつれて風雨に晒されて荒廃し、関係者の尽力で昭和59年(1984)に再建されました。第一殿(中央)は吉野水分(みくまり)神社、第二殿(右)は大神社。第三殿(左)は伏見稲荷大社の御分霊を祀っています。神社裏の石柱に「大林組 武藤寅也、鳥居に「中野組 中野安吉」「北喜組 北野楠治郎」「東興組 西野與吉」の名前があり、光明池建設工事を請け負った土木業者です。

プロデュース | 陸奥賢 [ 観光家 / 大阪まち歩き大学学長 ] コーディネーター | 宝楽陸寛 [ NPO 法人 SEIN / コミュニティ Lab 所長 ] イラスト & マップ制作 | もんちほし (青木真知子) 協力 | いずみ市民大学観光おもてなし学科受講生 (糸ちゃん / Mickey / Macy / T.A. / M.K. / 古川光)